



2024年5月21日

各 位

会 社 名 ゼビオホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役 諸橋 友良
(コード番号8281 東証プライム)
問合せ先 グループ財務担当執行役員 中村 和彦
(電話番号 03-6870-6008)

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について

当社は、2024年5月21日開催の取締役会において、会社の持続的成長と中長期的な企業価値向上を図るべく、資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について現状を分析・評価し、改善に向けた今後の取り組み方針について策定いたしましたので、お知らせいたします。

なお、詳細につきましては、添付資料「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について」をご覧ください。

以上

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について

2024年5月21日

こころを動かすスポーツ。

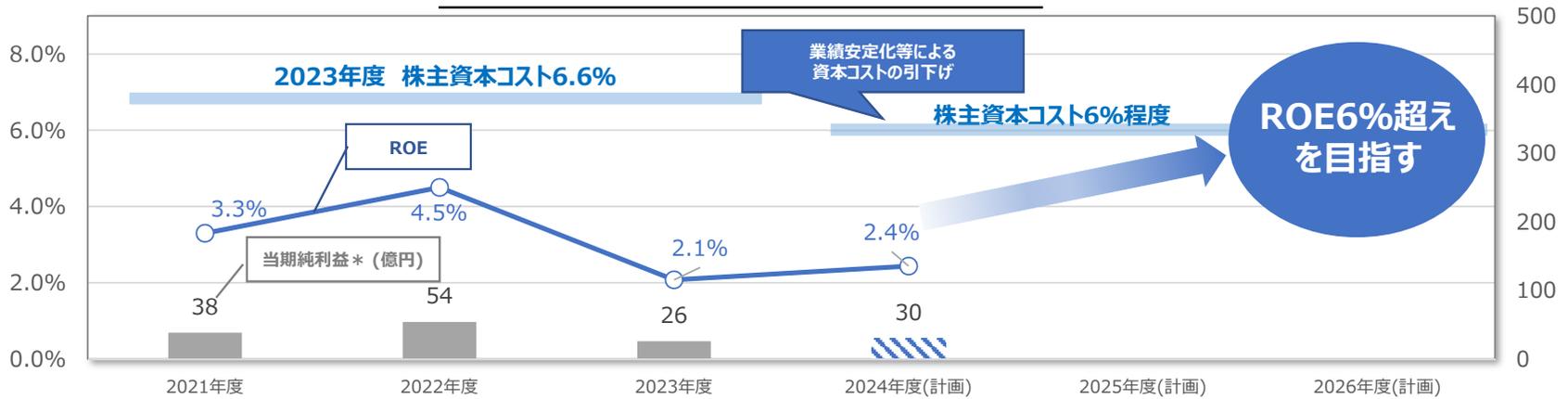


1. 資本コストと資本収益性についての現状分析

【現状分析とその要因】

- 2023年度の当社グループの株主資本コストは6.6%。直近のROEの水準はコロナ禍以降の業績回復の中で4.5%まで引き上げてきたが、2023年度は想定以上のコスト上昇と市場環境の変化の中で計画に対して下振れし、ROEは2.1%に留まる。
- スポーツ用品小売市場の持続的成長を前提にした適切なキャピタルアロケーションのもと、市場変化に対応するための成長投資と事業基盤の整備、および株主還元強化により、株主資本コストに見合うROEの維持向上を目指す。

ROEと株主資本コストの推移



* 当期純利益 = 親会社株主に帰属する当期純利益

【株主資本コストの考え方と直近5年の水準】 ※CAPMにより株主資本コストを算出

$$\text{株主資本コスト} = R_f + \beta \times (R_m - R_f)$$

R_f (リスクフリーレート) = 期末時点の国債10年金利

β (ベータ値) = 当社株価の対TOPIXヒストリカルベータ月次60か月

R_m-R_f (リスクプレミアム) = ヒストリカル法とインプライド法の平均値

$$0.77\% + 0.94 \times 6.24\% = \mathbf{6.6\%}$$

→ 0.77%

→ 0.94

→ 6.24%

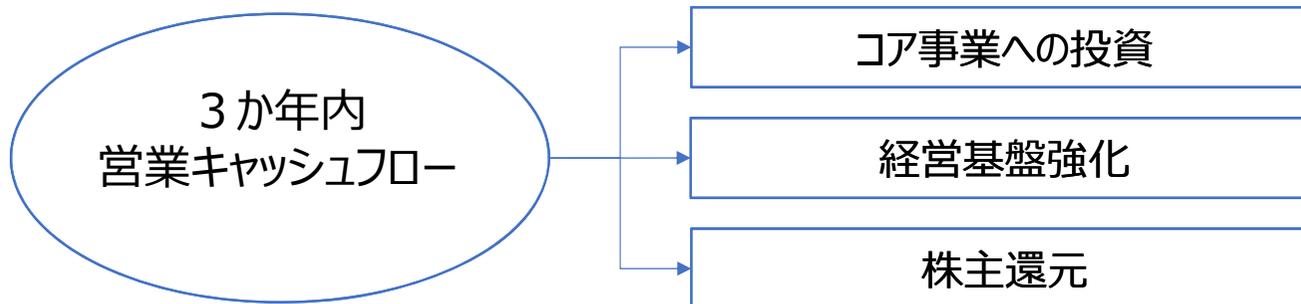
ROE 2.1%

親会社株主に帰属する当期純利益/自己資本

(2023年度)

2. 資本コストや株価を意識した経営実現に向けた取り組み

キャピタルアロケーション



ROE向上へ向けた方向性と具体策

